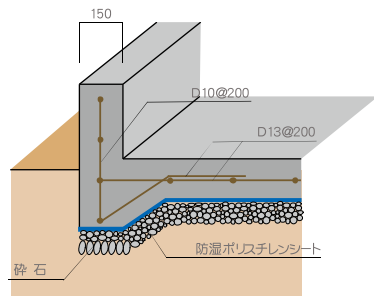


■ ベタ基礎

強固なベタ基礎、基礎幅 150mm を採用し、耐久性や強度に優れた家づくりを心がけております。いつも安心して暮らせる住宅を提供し続けます。



■ 基礎バッキン
土台の腐食、シロアリなどの繁殖を防ぎます



■ アンカーボルト
基礎と土台の緊結に使用します



■ 鋼製束
床束として使用します

■ 集成材の特徴

<特徴>

従来木材(無垢材)とEW(エンジニアリングウッド)を比較すると、無垢材は狂いが生じ変形(伸縮)し易いので、造作後多部に渡ってヒビ、すきま、床なり等の問題が生じ易い。EWを使用する事で、それを、低減する事が出来ます。

<耐久性>

集成材に使用される接着剤は、性能向上により監理条件を整えば、半永久保つことが可能です。

<防火性能>

断面積を大きくする事により、1,000㎡以上になっても必要強度が保たれます。

■ プレカット



骨組み加工はプレカットを採用し、高度なクオリティーをもつ住宅を、より短時間で供給出来るよう努力をしております。プレカットにより加工の均一化が可能となり、制度において0.1mmの正確さまでコントロール出来ます。工場生産をする事で、職人による品質誤差を解消し、均一の商品を提供致します。

<接合金物>



■ タレ木どめ



■ 腰高羽子板



■ 幅広短冊金物



■ ビスどめホルダダウン



■ スリムプレート



■ スジカイレート



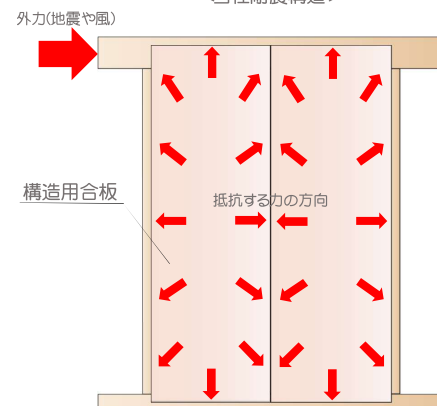
■ ホールダウンコーナー



■ フラットプレート

■ 耐震構造

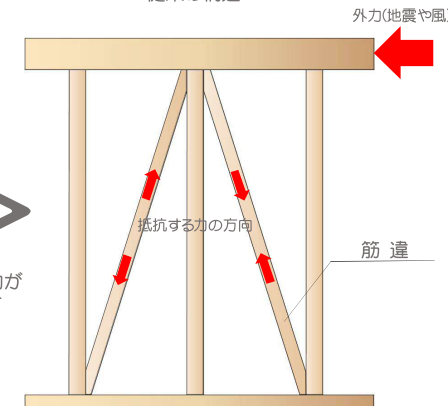
<当社耐震構造>



安定した体力が確保できます

外部からの力に対して、外壁面に貼られた面材(構造用合板)により、バランスよく分散し、大きな力に対しても、抵抗する事が出来ます。

<従来の構造>



外部からの力に対して、線状に配置された筋違が抵抗力を生み出します。局部的に大きな外力が掛かると、筋違が破損する場合があります。

■ 外壁通気工法

外壁内に通気層をつくり、湿気を溜めない構造としました。通気層は土台下端から、屋根裏まで到達出来るようにし、排気します。空気層による空間が出来る事で、音、熱の侵入も和らげる事が出来ます。

